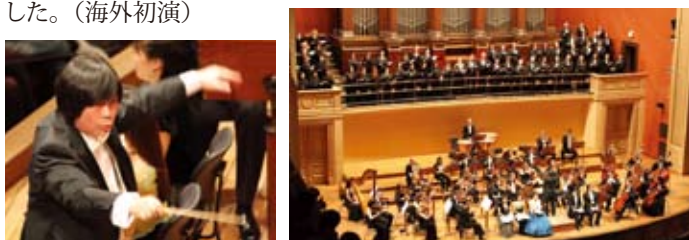


東日本大震災 追悼チャリティーコンサート in プラハ

高田 薫 (大中高24期)

レクイエム・プロジェクト実行委員会は、2012年4月1日、チェコ、プラハのドヴォルザークホールで、東日本大震災追悼チャリティーコンサートを開催いたしました。プラハ在住の日本人音楽家の方々などの多大なるお力添え、プラハ・フィルハーモニー並びにキューン合唱団のご協力を得て実現することができました。日本からもプロ声楽家5人、合唱団有志15人が参加して被災地に向け、上田益作曲「レクイエム～あの日を・あなたを忘れない」を現地の合唱団とともに心を込めて歌いました。(海外初演)



チェコの演奏家の皆さんも、「外国も日本の被災地の事は決して忘れていないということをお伝えしたい」と心を一つにして下さいました。たくさんのお客様にも募金時に「頑張っ！」など言葉をかけていただき、国境を越えた温かなコンサートは大成功のうちに幕を閉じました。今回は、プラハで別途録音したCDが6月に発売されます。是非お聴き下さい。



お問い合わせはメール composer@neo.nifty.jp まで。

義援金募金活動の 報告とお礼

東日本大震災に対する義援金募金活動に際しましては、皆さまのあたたかいご協力誠にありがとうございました。山桜会にお届け頂きました54,743円(2011年5月～2012年3月分)と第88号山桜会報(2011年12月発行)の広告掲載による義援金240,000円の合計294,743円を、3月21日日本赤十字大阪支社に寄託いたしました。被災地の一日も早い復旧をお祈りしますとともに、ご協力いただきました皆さまに心から厚くお礼申し上げます。義援金募金活動は継続して実施いたしますので、引き続きご協力お願い申し上げます。なお、義援金広告は、本号をもちまして、一旦終了致します。次号からは従来通りの広告となります。広告についてのお問い合わせ・お申込みは事務局までご連絡ください。



震災ボランティアに行って

林 由佳里 (小116期)

宮城県寒風沢島。この島に着港した時、最初に私達ボランティアを出迎えたのは瓦礫の山と水に浸かったプレハブの船着場だった。「現地の方にとって震災は終わらない」そう直感した。Youth For 3.11 という学生団体を通じて、このボランティアに応募し、11月24日から28日まで、私達は農地清掃ボランティアを行った。この期間中、私は多くのことを学び、考えるきっかけを与えられた。ボランティアは一方通行な行動ではなく、絆を結ぶきっかけだ。現地の方と手を取り合い、終わることのない震災という障害を乗り越えていきたい。



ありがとう

昨年、岩手県・宮城県・福島県にお住まいの方々へご連絡を取ったところ、連絡のできた会員14名の方の無事を確認する事ができました。しかし、それぞれが被災されておられ、別住所へ避難されている方もおられました。その皆様に対して、私たち同じ追手門学院で学んだ仲間として何か出来る事がないかと相談し、山桜会の有志で励ましの言葉を色紙に書いてお送りしたところ、たいへん丁寧なお礼のお手紙をいただきました。



元気だよ！頑張ってるよ！という内容にほっとし、逆に私たちのほうが励まされた感じです。どうか、お身体大事に。一日も早く、以前の生活に近づける日が来ることを心よりお祈り申し上げます。